

■ 湖南省 ハイウェイサイドタウン地区 への展開 (平成26年度～)

湖南省 ハイウェイサイドタウン地区において、「土砂災害に強い地域づくり計画WG」を実施中である。当地区において、甲賀市多羅尾区での経験をもとに作成した「地区別避難計画作成の手引き(案)」をもとに、①地区別防災マップ(案)や②地区別避難計画書(案)を作成中である。

また、取り組み成果を踏まえ、必要に応じて③「地区別避難計画の作成の手引き(案)」の更新を実施する予定である。

①地区別防災マップ(案)の作成

過去に発生した災害箇所の情報、避難場所、主な避難経路、川や水路などの危険箇所等、住民の情報を含め、書き込んだ地図を作成する。

②地区別避難計画書(案)の作成

洪水や土砂災害において、地区の人的被害を回避・軽減するための避難や連絡体制、要配慮者の支援体制などの自助、共助のルールをまとめた計画を作成する。

③「地区別避難計画作成の手引き(案)」の更新

湖南省 ハイウェイサイドタウン地区での取組結果から、新たな課題・改善点を踏まえて「地区別避難計画作成の手引き(案)」を更新する。



◆ハイウェイサイドタウン地区の位置図

■ 土砂災害に強い地域づくり計画WGのスケジュール

ハイウェイサイドタウン地区において、平成26年度より土砂災害に強い地域づくり計画WGを開催しているところであり、平成27年度に地区別防災マップ(案)と地区別避難計画書(案)の完成を目指す。

■ 第1回WG

【日時】平成27年1月29日(木)20:00～21:30

【目的】防災マップおよび避難計画書作成の意義や目的を説明し、住民の理解を得る

【実施内容】

- ・WGの位置づけ、目的の説明(協議会との関連等)
- ・砂防出前講座
- ・防災マップ、避難計画書についての説明とスケジュール(案)の提示

■ 第2回WG(災害図上訓練)

【日時】平成27年2月15日(日)9:00～12:15

【目的】防災マップ(素案)・避難計画書(素案)の作成

【実施内容】

- ・地区別防災マップ(素案)の作成:5グループに分かれて地図上に危険箇所等を書き込み
- ・避難計画書(素案)の作成:標準記載例を基に、避難計画書(素案)を作成

■ 第3回WG(まち歩き)

【日時】平成27年6月20日(土)14:00～20:30

【目的】現地を歩くことにより危険箇所の確認や新たな発見を行い、防災マップ(素案)の精度向上および充実を図る

【実施内容】

- ・各グループに分かれ、まち歩きとまとめ(昼の部、夜の部)

■ 第4回WG

【日時】平成27年7月25日(土)9:00～12:00

【目的】防災マップ(素案)の見直しおよび地区の避難に関する課題について考える

【実施内容】

- ・まち歩きの結果を受けて防災マップ(素案)を修正
- ・浸水リスクや避難等に関する講演(県流域治水政策室、湖南省危機管理・防災課)
- ・避難に関する課題についてグループ討議

自治会役員協議(避難訓練の内容等)  
防災マップ(素案)の印刷、配布

■ 避難訓練

【日時】平成27年10月4日(日)8:30～11:40

【実施内容】

- ・防災マップ(素案)を用いて訓練を実施
- ・砂防講演会(土砂災害に関する出前講座等)

■ 第5回WG

【日時】平成28年1月24日(日)9:00～12:00

【目的】防災マップ(案)・避難計画書(案)の更新

【実施内容】

- ・地区別防災マップ(案)・地区別避難計画書(案)の更新について、各グループで討議
- ・各グループより出された意見への対応を討議し、修正方針を参加者全員で確認

平成28年3月(予定) 地区別防災マップ・地区別避難計画の印刷、配布

平成26年度

平成27年度

## ■第1回土砂災害に強い地域づくり計画WGの開催(平成27年1月29日)

- ハイウェイサイドタウン地区の住民、湖南省、滋賀県が参加
- 砂防出前講座による土砂災害についての学習会
- 土砂災害に強い地域づくり計画WGの位置づけと全体スケジュール案の説明
- 次回WGに向けて、地区別防災マップと地区別避難計画書の作成について説明

## ①砂防出前講座(土砂災害に強い地域を目指して)

土砂災害の種類や前兆、近年発生した土砂災害(平成26年広島等)、土砂災害から身を守るためのポイントについて説明した。

## ②地区別防災マップと地区別避難計画書の作成について

次回のWGに向けて、地区別防災マップと地区別避難計画書を作成する手順を説明した。次回WGでは、土砂災害警戒区域や組の配置状況を考慮し、5つに分けたグループごとに作業を進める。

## 議事概要

- 住民からの避難所をどこに定めるのかという質問に対し、多羅尾区WGで意見が出た教会、寺社、班長(役員)の家などへの一時避難方法を紹介し、このWGで避難場所や避難方法について検討していきたいと説明した。
- 住民からの避難計画書の更新方法に対する質問に対し、防災訓練以降でも防災マップに新たな情報を加えることがあれば、大判図面に書き込んでいき、アップデートしていくことも可能であると説明した。
- 住民から当地区に居住する外国人、高齢者、子どもでもわかりやすいマップとするよう要望があった。



◆第1回WGの様子

## ■第2回土砂災害に強い地域づくり計画WGの開催(平成27年2月15日)

- ハイウェイサイドタウン地区の住民、湖南省、滋賀県が参加
- 5グループに分かれて、ハイウェイサイドタウン地区の地区別防災マップ(素案)と地区別避難計画書(素案)を作成
- WGの最後には作成した防災マップ(素案)と地区別避難計画書(素案)を発表

## ①地区別防災マップ(素案)の作成

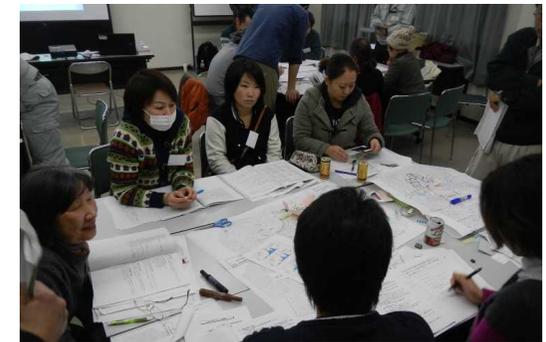
自宅や水路の位置などの基本情報、一時避難場所、危険箇所、自主避難の目安や避難ルートなど防災マップに記載する情報をグループごとに整理した。

## ②地区別避難計画書(素案)の作成

計画書に記載する情報や内容、目的を確認し、連絡体制や避難の判断や行動について話し合った。

## 防災マップ(素案)、避難計画書(素案)作成に向けての今後の課題と特徴的な意見

- 新菩提寺まちづくりセンターは、風水害における市指定避難所である(地震は対象外)が、ハイウェイサイドタウン地区から距離があるため、一時避難場所として自治会館を利用する。
- 避難場所について、地区の自治会館に加えて、名神高速道路の菩提寺パーキングエリアを挙げるグループがあり、避難場所として活用する場合、今後関係機関と調整する必要がある。
- 避難の際の移動手段(徒歩、車)を決めておく必要がある。
- 一時避難場所から新菩提寺まちづくりセンターまでの避難路で冠水しやすい箇所があり、課題が残る。
- 現地情報の確認や避難場所を話し合うためには、土砂災害警戒区域に入っていない住民にも参加してもらう必要がある。
- 危険箇所の情報については付近の住民への聞き取りや現地調査(まち歩き)での確認が必要である。
- 「SISPAD」、「しらしがメール」の操作方法に関する説明会を要望する意見があった。



◆第2回WGの様子



◆住民が作成した防災マップ(素案)

### ■第3回土砂災害に強い地域づくり計画WGの開催(平成27年6月20日)

- ハイウェイサイドタウン地区の住民(子どもを含む)、湖南省、滋賀県が参加
- 第2回WGのおさらいおよびまち歩き等の目的、方法等の説明
- 5グループに分かれてまち歩きを実施し、結果をグループ毎にとりまとめ

#### ①オリエンテーション、グループ作業

第2回WGでの取り組み、主な意見等についておさらいした。また、まち歩きの目的や方法等について説明を行った後、グループに分かれてルートや役割分担等の話し合いを行った。

#### ②まち歩きの実施

グループ毎に、自分たちが居住する地区を歩き、危険箇所の確認、発見を行った。まち歩きは、昼の部だけでなく、夜間の避難時の危険箇所を発見するため、夜の部も実施した。まち歩きの結果は、グループ毎に防災マップ(素案)にとりまとめた。

防災マップ(素案)、避難計画書(素案)作成に向けての今後の課題と特徴的な意見

- 一時避難場所の自治会館はスペースに限りがあり、また大雨時には浸水する可能性があるため、他に緊急的に避難できる避難場所も探しておく必要がある(ひかり幼稚園、菩提寺PA等)。
- 道路表面が浸水していると、水路や側溝等の位置がわからず、転落する危険性がある。特に夜間は暗い道があるため、注意が必要。
- 浸水の可能性や、谷筋の横断等を踏まえて、当初設定していた避難経路を見直した。
- 避難所までの距離や高齢者等の避難等を考えると車による避難が必要になるが、歩行者と経路を分ける等のルール決めや駐車スペースの確保等が課題となる。
- WG参加者以外の方や家族との意識共有が必要。



◆まち歩きの様子



◆とりまとめの様子ととりまとめ結果

### ■第4回土砂災害に強い地域づくり計画WGの開催(平成27年7月25日)

- ハイウェイサイドタウン地区の住民、湖南省、滋賀県が参加
- まち歩きの結果を反映した防災マップ(素案)の確認、修正
- 講演:①「地区の浸水リスクについて」(滋賀県流域治水政策室)・②「避難関連情報の発令基準等」(湖南省危機管理・防災課)
- これまでのWGで挙げられた避難に関する課題について、各グループで話し合い。最後にグループ代表者による発表。

#### ①地区別防災マップ(素案)の更新

他グループの意見等も参考に、配布するマップ(A3版)の体裁等を見据えて、防災マップに掲載する情報の取捨選択、修正を実施。

#### ②浸水リスク・避難情報の発令基準等の講演

滋賀県流域治水政策室、湖南省危機管理課より、避難に関する情報についての講演が実施された。

#### ③避難に関する課題についてのグループ討議

避難の判断基準(いつ)、緊急時の避難場所(どこへ)、車を含めた避難方法(どうやって)について、グループに分かれて話し合い、結果を代表者が発表。

避難計画書(案)作成に向けての今後の課題と特徴的な意見

- 避難の判断基準は、避難勧告の他、「勧告まで待たずに水路の状況等から判断する」、「公表の雨量情報は範囲が広いので地区に直結した雨量情報の収集として自分たちで簡易雨量計を設置して避難を判断する」等の意見が出された。防災無線は聞こえないことがあるため、情報伝達が課題となる。
- 避難場所としては、ひかり幼稚園、菩提寺PA、開雲門寺は使用できるよう調整中である。緊急時には、警戒区域外のお宅や道路脇のスペース等を利用する。
- 車での避難については、「要支援者に限定すべきでは」、「車での通行可否の判断や日頃からの意識付けのため名神高速下のボックスに浸水深を示す印をつけては」といった意見が出された。



◆第4回WGの様子

### ■防災マップ(素案)を活用した避難訓練の開催(平成27年10月4日)

- 「湖南省防災の日」に実施される湖南省防災訓練に合わせ、ハイウェイサイドタウン地区自治会が主体となって、土砂災害を対象とした避難訓練が実施された。
- 避難訓練後、菩提寺まちづくりセンターにて、土砂災害について学ぶ「砂防講演会」を実施。

#### ①避難訓練(土砂災害)

- ・要支援者の避難支援: 避難準備情報発令に合わせ、要支援者の避難支援訓練を実施。
- ・一般者避難訓練: 避難勧告発令に合わせ、防災マップ(素案)を利用しながら、一時避難場所(3箇所)へ避難。各避難場所で記名して終了(地区人口1,753名中、256名が参加)。
- ・情報収集・伝達訓練: 避難者数の集計や市への報告、防災無線の放送による情報伝達訓練

#### ②砂防講演会

- ・自治会長による訓練総括、土砂災害動画の視聴、滋賀県砂防課による砂防出前講座、WG参加者による防災マップ(素案)作成の経緯説明・話し合いなどが実施された。



◆避難訓練の様子(左: 要支援者の避難支援 右: 一般者避難訓練)

#### 避難訓練実施後の防災に関する特徴的な意見(アンケート結果より)

- 自分自身で避難場所を把握しておく必要がある。
- 非常時持出品を備えておく。
- 災害時の行動や連絡先などについて、家族やご近所で日頃から話し合っておく。
- 災害に関する情報を利用しなければいけない。
- 近所同士の声かけが必要。特に一人住まいの高齢者など。
- 状況に応じてどのルートを通るか想定しておくことが必要。
- 雨の日に一度避難場所まで歩いてみる必要がある。
- 増水時は、足元を棒で確認しながら歩く(特に夜)。



◆砂防講演会の様子

### ■第5回土砂災害に強い地域づくり計画WGの開催(平成28年1月24日)

- ハイウェイサイドタウン地区の住民、湖南省、滋賀県が参加(今後の展開(自治会によるマップ、避難計画の更新等)を考慮し、自治会役員が議事進行)
- 避難訓練の結果を反映した防災マップ(案)、避難計画(案)について、各グループで確認および討議(修正意見の抽出)
- 年度内のマップ、避難計画の配布に向け、WG参加者全員でグループ意見への対応を討議し、修正方針を確認

#### ①これまでの取り組み・避難訓練アンケートの結果について

- ・今までの取り組みを振り返るとともに、避難訓練アンケートの結果を紹介し、地区の防災意識の現状について認識してもらった。

#### ②地区別防災マップ(案)の更新

- ・各グループで地図面および情報面への掲載情報について確認した後、出された意見の反映についてWG参加者全員で討議を行い、修正方針を確認した。

#### ③地区避難計画(案)の更新

- ・各グループで地区避難計画(案)の内容について確認した後、出された意見の反映についてWG参加者全員で討議を行い、修正方針を確認した。

#### 防災マップ、避難計画の配布および今後の自治会の取り組みについて

- 防災マップ、避難計画は、WGの意見の反映および自治会の確認を経て、3月に全戸配布を行う(予定)。
- 今後は自治会により、防災マップ、避難計画の更新を実施していく。
- 防災マップや避難計画の活用、継続的な避難訓練の実施を通じて地域の防災力を高めていく。
- WGの活動内容を参加者以外にも周知し、土砂災害に対する防災意識を地区全体で高めていく。



◆第5回WGの様子